魚津市広報

発行所
魚津市田方町80番地
魚津市役所
編輯発行人　清河七良
（毎月1日・15日発行）
（定価一部三円）

魚津市荒町
小浜印刷所

地区別割当きまる

早期供出奨励金十日まで延期

政府に売渡すべき、昭和二十九年産米穀に関する政令に基いて指示された本市の産米の出張所別割当については、去る十一月二十二日市農業委員会の意見を徴し、左記のとおり十一月二十四日決定されました。

さきに県が郡市別割当しました時は、最早本市の義務供出量は勿論、確保量を突破しておりました。これはひとえに農家各位の絶大な努力と供米意欲の旺盛な賜物と感謝しております。近日中には全市各地区において個人別割当がされるものと思われますが、供米完納といえども国民食糧の必要量を確保せんとする政府の基本方針に対し奮つて御協力を切望致します。

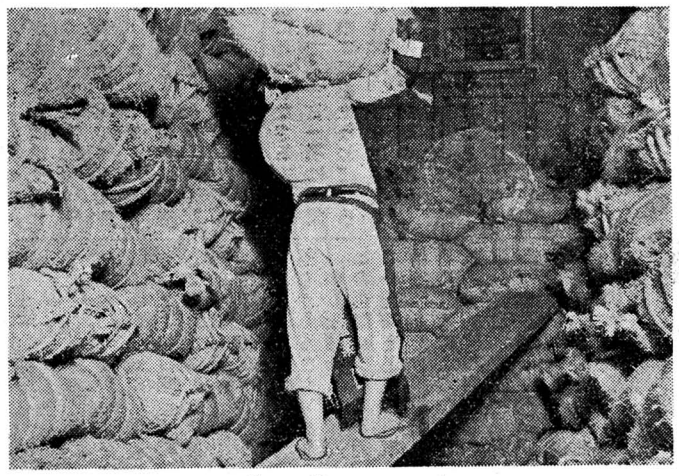
尚早期供出奨励金は十二月十日まで延期になりました。又売渡期限は昭和三十年三月三十一日以内に追つて定めることゝなりますが、積雪期の搬出困難の事情等を考慮し、本年十二月末を目途として、売渡完了せられる様望んでおります。

十一月二十三日現在市の供米成績は次のとおりであります。

義務供出量　二一四九四石
供出済量　二九七七七石
右　率　一四一・八%

昭和二十九年産米政府買入出張所別割当数量（単位玄米換算石）

地区名	収穫見込高	保有量	供出確保量	義務供出量
下中島	四、九六八	二、二五〇	二、七一八	二、一二九
上中島	六、〇八五	三、五七七	三、五五八	二、八〇〇
松倉	四、七〇九	三、三五六	一、四五三	一、一四四
上野方	四、九九五	一、九一九	一、〇七六	二、四三一
下野方	四、八四八	一、七七八	三、〇七〇	二、四一六
片貝	四、四八六	二、四七三	一、六二三	一、二七〇
加積	四、八五五	二、一三七	二、七一八	一、二七〇
下道	三、九三五	二、〇五一	一、八八四	一、四八三
経田	三、四二四	一、七二三	一、六九三	一、三三三
天神	四、九三三	一、九四四	二、五八三	一、三一三
西布施	五、六四〇	三、〇五二	二、五八三	一、七〇三七
計	五三、九七七	二五、五六八	二七、三〇九	二一、四四九



供米の山

◎火もとに注意しましょう。

魚さん有難う　放生会営む

水族館は桜の花咲く、来春まで臨時休館致しますので、最後の十一月十四日、十五日の両日は「感謝デー」として、無料解放により市民の皆さんに喜こんで頂きました。又水族館で人気を博した多くさんの魚は、狭い所で大変御苦労をかけたので、十五日午後二時古式による。生き物を放つ、放生会（ほうじょうえ）の供養は神式により、厳そかに執り行はれましたが、終了後市長や議長等の手で次々と水族館の魚を全部海へ放流しました。

自由になつた魚は、さぞ喜んでいる事でありましょう。この行事は毎年とり行う予定であります。

魚を放流する市長

生活改善の実施は　どうなつているか

生活改善の問題は古くて新し問題である。しかし実施実践は困難である。何故実施実践が困難であるか、今一度われ〳〵は本気になつて反省してみる必要がある。明るい住み良い社会の実現を願い民主々義国家を希いながら、長い間の伝統や因習から容易に脱しきれず、生活は益々華美に流れ、生活改善を叫びつゝも単なる掛声や形式面の改善にとどまつて家庭生活の向上はちぢとして進まない現状でなかろうか。

生活改善の実施方針には二つの方法がある。一は権力によつて実施ずる事である。二は生活を反省して出発する事である。権力によつて法規によつて強力に実施することは困難である。生活を反省して、生活改善のグループを作つて出発するより現在では方法がないのでなかろうか。公民館を実施主体として「○○地区新生活推進協議会」を作り各地区の各団体が協力体制を持つて出発せねばならない。地区の婦人会だけが声を大にして叫んでも単なる掛声に終るのでなかろうか、栄養価より見た保存常備食の調理栄養食の普及」の問題を中心として取上げるのならば先づ、五人でも十人でもよいからグループを作つて各自が期間を持つて計画的に研究し、それを発表し合つて、実践にうつし、其れ等のグループを強化していく事である。前にも述べた如く、それには各種団体の協力が必要である。

次に生活改善事項をあげてみたい。多くの事項があるが、其の中の一つか二つを問題として取上げ、次には何、と漸次問題と取組まねばならない。其の運営はあくまで合理主義に立脚した民主々義的基によつてなされねばならない。

A 保健衛生に関する事項
イ 清掃協力（薬剤撒布）
ロ 夜具干し励行
B 計画出産運動展開
イ 母体の保護と計画出産健康診断
ロ 必要性の認識と実践技術
C 衣食住の改善と飼育栽培の研修
イ 作業衣の工夫改良
ロ 栄養価より見た保存常備食の調理栄養の普及
ハ そさい園の経営と家畜飼養法
ニ 農家住宅改善及び台所改善
D 冠婚葬祭及び社交儀礼改善
イ 結婚は式や調度を重視せず人格を専重し新家庭を祝福する
ロ 葬儀には無駄をなくして故人の霊を慰める
ハ 年末、年始、中元、寒暑、節句等の贈答は簡素にする
E 生活改善態勢の確立基準
イ 各種会合には集会時間を厳守する
ロ 毎月休養日として休養時間を作る
F 計画生活の実践
イ 家計簿を作り目覚ある生活をする
ロ 無駄な費用を節約する

新年祝賀交歓会

昭和三十年の新春を迎えるに当り、市では市民相互の親睦をはかり、挙つて新春を寿ぐため、左の通り新年祝賀交歓会を催しますから参加御希望の方はどなたでも御申込み下さい。

日時　昭和三十年元日　午前十一時
会場　魚津西部中学校
会費　金百五十円
申込期限　十二月二十日
申込についての注意
㈠官公衙、会社、事業所にあつては市役所秘書人事課え、個人にあつてはその区の広報員を通じ御申込み下さい。
㈡名刺作成の都合上期限後の申込みは受付致しません。
㈢会費は申込みと同時に納めて下さい。

身体検査を実施

明年度就学児童の

明年度（昭和三十年度）施されますから、保護者付添いの上検査を受けて下さい。の就学身体検査は、市内各小学校に於て左記の通り実

記

小学校名	検査実施日	明年就学児童数	本年就学児童
大町小学校	十二月六日	二六二人	三九人
村木小学校	十二月三日	二三〇	三三七
住吉小学校	十二月八日	一五五	六一
上中島小学校	十一月廿二日	一五五	五〇
松倉小学校	十一日十六日	四六	五一
坪野分校	〃	一〇	二
古鹿熊分校	〃	七	八
上野方小学校	十一月廿九日	四九	四六
下野方小学校	未定	九五	七四
片貝小学校	十二月初旬	一四四	一五
山女分校	〃	二一	一九
加積小学校	十一月十八日	七三	七六
道下小学校	十二月初旬	二八	二四
経田小学校	十二月初旬	一三七	一六五
天神小学校	十一月廿五日	四八	五七
西布施小学校	十一月廿二日	一六	八〇
白倉小学校	十一月十六日	一三	一五
計		一、四四九人	一、五五八人

10月の統計

出生	男 43	女 33	76人
死亡	男 27	女 18	45人
婚姻			16件
人口			46.577人

これは美味い！　水産加工技術講習会

試食会風景

十一月十九日、二十日の両日、魚津の特産品である、ひめじ（沖の女郎）にぎすを何んとか魚津の優良水産加工製品にしようと、水産加工技術講習会を開催しました。十九日、全国優良水産加工製品と共に、その試食会を水族館階上で、関係者参集して開きましたが、席上味の具合や今後の水産加工についての意見を述べ合いました。

オテイテカラの塚（二〇）
「塚を訪ねて見たが」

慶長一四年（一六〇九）前田利長公は、高岡城を築城しようと、時の築城家高山南坊長房に設計を命じました（高山南坊を高山右近と称しました）右近の築城に協力した内藤徳庵（とくあん）宇喜多久閑、品川右京、柴山権兵衛などは、大変な天主教の信者で、当時堅く禁ぜられていた宗教であつた為め、強く改宗を進められてきましたが、これをこわんで聞き入れなかつた為め、慶長十九年（一六一四）利長公逝去の年に、ポルトガル領マカオに、国外追放されてしまいました。

此の頃魚津に鈴木孫左ェ門という人が、郡代所の役人を務めていました。ひそかに「マリヤ」の像をかくして耶蘇教を信仰していました孫左ェ門は慈門という人の弟子で慈門は高山南坊の高弟でありました。この頃から一年前、慶長十八年（一六一三）には「宗門檀那請合之掟」を天下に掲げ、東照神君御垂旨拾五個条として、これを守らないものは、日本六十余州の神明の「可奉蒙神罰者也」と、堅く禁止致しました。又其の翌年には「宗門改め」の制が実施され、諸国の天主教のそうさくが、一層厳しくなりました。

当時京都の南蛮寺が破壊され耶蘇信徒は北陸地方へも参り、この魚津に来て驚いていう様

「この魚津は唐の今浦、南洋の雲浦にも似ている。必ず海中に蜃あつて、珠を産する所だろう。永住して魚腹を探さば、必ずテーカウの珠を得られやう」。

と鈴木孫左ェ門に伝えました。そこで孫左ェ門は毎日海中を探つて二珠を得、その一つを慈門が高弟大和の眼医に送りました。

孫左ェ門は益々珠を探ることに妙を得、傍ら法を拡めたので信者が益々多くなりましたが、慈門が捕えられ、孫左ェ門も魚津郡代大音主馬に捕えられ、大和の眼医と共に江戸に召し出されて神田の辺で処刑されました。

孫左ェ門が家を出る時妻に向つて

「我が運既に尽きたと見え今朝テーカウの珠、墨の様に黒く見える。老母にも覚悟を召されよ」

と暇乞いして遂に江戸に送られました。

孫左ェ門の家族七人は大音主馬の追手に少しも騒がず、老母は髪を結び直して、追手が却つて遅いのをなじつたという程で、捕えられて遂に魚津の刑場の露と消えました。死骸は魚津の街はづれ、昔の諏訪明神の北方、田畑川のほとりに埋葬し、これを切支丹塚と称し又妻の名を「オテイテイカラ」といつたので「オテイテイカラの塚」ともいつていたと言う事です。

堀うん庵の寛永南嶋変附録に「死骸を埋めた所は魚津の北の方町端（まちはな）にて諏訪明神の向うなる松原也今千其塚ありてイカウ塚云」とあります。

魚津の古い地図（天明の頃か）には明かに田畑川が記入されてありますが、現在その川の流れが変つている為めに、塚があつたと思われる場所の見当もつかず寛永の頃の記録だけでは、幾度訪ねても、その場所を見付けることが出来ません

昭和二十八年十一月等覚寺本堂前の広場に消火用池を堀つた際、七つの首桶が発掘されたので、鈴木孫左ェ門一家の首であろうと、其の場所に有志相計つて、供養塔を建て懇ろに供養致しました。

あなたの魚津を…よくするために

第3期分

固定資産税

納期限 12月25日まで

忘れぬよう納めましょう

農事相談室

「問」放置される大根菜等青菜の利用法をきゝたい。

「答」御気付の通り、巷に溢れる菜葉等は真に勿体ないものです。心がけ次第で立派な食糧、飼料、肥料になります。

先づ食糧ですが、水菜にします。方法は大根葉の外側の剛いのをとり去り、熱湯で茹で、其の熱いのを茄汁の桶まゝにつめて上から重石をしておく。

長い冬、青菜の不足する期間、然もビタミンA、B、Dに富み葉緑素、粗センイを提供するこの水菜を必要の都度とり出して使い、或いは油でイタメて喰べる。

次に有畜農業経営の飼料用にも、極めて重要です。方法は乾燥飼料かサイレージにする方法ですが、先づ大根の外葉、白菜、甘藍、出荷の外、葉等小規模ならばレンゲ、菜種のように縄であんで吊しておく、山羊、緬羊、家畜等の好物です。野菜の産地は畜産の盛んな地であることは、この捨てる菜を利用することによって必然的に興る産業です。規模が大きければ、サイロがあり、一寸乾燥して、芋蔓、青刈大豆、クヅ菜等サイレージに詰めます。ビタミン飼料として泌乳量を増す資料として金で買えない価値のあるものになります。

特に養鶏をなさる方々は冬の日でも一日一羽に拾匁以上の菜葉をやらねばならない。其の羽数を勘案して甘藍を作る、結球の粗末なもので結構ですから、雪の中からとり出して毎日鶏にやります。体の健康等真に申し分はありません。

最後に肥料化ですが、菜葉一枚でも疎一本、草一本が心がけ次第で立派な堆肥になります。とかく屑菜を散乱させておく事は感心しません。キレイに掻き集めて清潔にすべきです。畑にのこす病菜の病菌は伝染源になつて名高い産地は十年、十五年とたつ中移動するのは歴史の証明する処であります。

お礼とお願い

—警察署から—

皆さん、秋季交通安全運動は期間中一つも事故がなく、ここに目出度く終了致しました。これはひとえに皆さんの理解ある御協力と、御支援の賜に外ならないのでありまして、本当にありがとうございました。

申し上げるまでもなく、この運動は、単なる期間中の一行事としてのみ取り上げられるべき問題でなく、この運動によつて得た貴重な経験を、如何にして生かし、交通事故のない明るい街にするかと言う課題に対する回答はむしろ今後に残されている訳であります。今後皆さんの尚一層の御協力御支援をお願いするわけもこゝにあるのです。期間中特に気付いた点を申し上げて、将来への御参考に供したいと思います。

一、対面交通の厳格に守られていたのは、子供さんだけで、大人の人、特に御婦人方の間には、無関心な態度が見受けられた事

二、店をこと更に道路上にはりだしたり、道路上に自動車その他のものを、交通の妨害となる様に放置したもの

三、依然として幼児の道路上で遊ぶもの、特に遊戯中、突然横道から交通頻繁な道路に飛び出して横断しようとするものが多かつた。これは最も危険です

四、無免許運転が多いこと

尚期間中事故がなかつたばかりでなく、魚津市は昨年より約五割の事故が減つております 県下で、このような嬉しい例は外に小杉警察署の管内だけでありまして、市民の皆さまの御協力のある限り、いまわしい悲惨な交通事故の一つもない明るい大魚津市の建設も、決してむずかしい事ではない訳であります。今後共一層の御協力と御支援を賜ります様お願い致します。

お母さん又忘れたの
右側よ
あなたが規則を守れば
規則はあなたを守る

公営住宅建設工事に着手

住宅にお困りの方々のために、少しでも之を緩和しようと、市では毎年建設している公営住宅について、本年も三十三戸をそれ〴〵次の場所で建設することになり工事に着手しました。完成は来春二月初旬頃で、入居の募集は一月中旬と予定しております。

道下地区青島　一〇戸
一戸九坪（木造）
下中島地区三ヶ　十五戸
一戸十一坪（木造）
下野方地区本江　八戸
一戸十三坪（耐火構造）

市忠魂碑の竣工について

魚津市碑友会から

かねて魚津市碑友会に於て旧魚津町忠魂碑現場に市忠魂碑を建設中の処、ほぼ竣工、遠からず竣工式及び慰霊祭を執行する運びとなりました。市当局及び市民各位の御援助、御協力を感謝致します。

尚この上とも忠魂の顕彰、忠魂碑の保全、遺家族の援護、戦争犠牲者への協力、海外同胞引揚運動等の目的達成の為、挙市全戸の本会御加入方を念願しております。

工事の概要

一、本碑の手入れ　二、瑞垣の修築　三、門扉の新設　四、高麗狗受戻据付　五、御影石標柱建設　六、芳名簿洞カン作製

講習会二つ

（其の一）

市連青指導者講習会

去る十一月十三日から三日間、西布施光学坊に於いて、市教育委員会並びに市連合青年団主催のもとに第三回魚津市連青指導者講習会が開かれ、市長はじめ教育委員長、教育長の挨拶祝辞があり、講師として市より北条図書館長、県より京谷準一主事等と十数名の方々により盛大に行われ、十五日午後四時、五十有余名に修了証書が授与され三日間の幕を閉じました。

レクレーション風景

（其の二）

第二回角川三校下

青年団幹部養成講習

地域社会の課題の解決、地域社会の発展のために、市内各地区の単位団は、奉仕、教養、運動、レクレーション等の事業を行つて来たが、今度角川校下の三青年団が左記により幹部養成の講習会を自主的に開催する事になつた。

記

一、場所　魚津市北山（仁右ェ門宅）
二、期日　十二月四、五日（一泊二日間）
三、主催　松倉、下中島、上中島青年団
四、協力　市教育委員会松倉、下中島、上中島、下中島、上中島青年団

ハーヴェイー博士からの便り

アメリカからの手紙

大正五年と言えば、丁度今から三十九年前、昔の水族館に、帝国大学水産動物研究所があつた頃、年若い二人の夫婦の「アメリカ」の学者の姿が、其の当時の街の人達に珍らしく、親しく迎えられていた事があります。

其の時の記念写真と、「アメリカ」から送られた町民に対する感謝の手紙とを、水族館に掲げて参観者に見て戴いてきました。

この二人の学者は、その後どうなつたか、ようとして消息が絶えていましたが最近二人とも達者で、プリンストン大学でアメリカの有名な動物学者として、研究を続けておられることが魚津出身のお茶水大学教授西崎一郎氏から伝えられてきたので早速通信を致しました処、次の手紙に一九五〇年に撮つた写真を送つてきました。

手紙（訳文）

いつか魚津で勉強した時の妻と私の写真と共に貴下の手紙を受取り欣快に堪えません。

私は合併によつて、小さな町が大きな市になつたことにお祝いを述べると共に、貴下が市長さんであると聞いて非常に嬉しく存じます。

研究室のハーヴエイー夫妻

妻と私はずつと以前魚津で私達が過した日を度々想い出しております。私が勉強した小さな研究室を今もはつきり憶えています。今度造られた水族館は実験と展覧のために造られた立派な新しい研究室であると聞いて嬉しく存じます。

多分新らしい研究室が資料館として出発しつゝあるものと存じます。

それで私の研究書の発行所であるニューヨーク市の「アカデミック社」に尋ねて、発光有機体の生成を詳細に著述した「バイオルミイニイセンス」の写しをお送り申上げました。それは「ホタルイカ」の研究の為にやつてくる研究生に非常に役立つと存じます。

私は一九五〇年に撮つた妻と私の写真をお送り申上げました。当時と変つたのを御覧になつて興味深くお思いになられる事でしょう。

貴下から送つて頂いた手紙と私達の写真に重ねて厚く御礼申上げます。私達の敬意と親頼をこめて。

イ、ニュウトン、ハーヴエイー

図書館だより

図書館は毎月末を休館日とすることになりました。

いままでの図書館の休館日は毎水曜日と国民の祝日でありましたが、こんど十一月末を初回に臨時措置として当分の間、毎月末を休館日と制定いたしましたので、みなさまにお伝えいたします。この理由は、

①利用者が激増した昨今公開書架室の本の排列が非常に混乱をきたし、利用者に迷惑をおかけしているということ。図書館のたなの本は利用者の便宜をはかつて内容の同じものが一カ所に集つており、その同じ集団の本は、著者のアルファベット順に整然とならべてあります。ところが利用者のなかには引出してお読みになつたあと、本だなの空いているところ（どこへでも）え押込んで帰られる方が割に多いので排列が混乱するのです。この混乱をなおすために、毎朝、職員二人が作業をしておりますが何しろ一万冊近い本でありますので全部なおしきらぬうちに又混乱するという状態を解決するために全職員が登館してこの仕事に当り翌一日からきちんとした本だなに接していただこうということです。

②館内の清掃と消毒のため

③借り出された本の延滞納督促事務をとるためなどであります。

篤志

魚津市田方町吉崎いささんは、去る十一月十九日本市生活困窮者に対する援護の資として金五百円寄附されました。

新刊図書案内

最近入荷し皆様の御利用をおまちしている新刊書を二、三御紹介しましょう。

① 人生案内　清水幾太郎著（岩波書店）
② 痛くないお産　日本赤十字社産院編（蒼樹社）
③ ほしくづ　北川揚村著（青林書院）
④ 山岳講座　一巻～六巻　川崎隆章編（白水社）
⑤ 読売報道写真集（読売新聞社）
⑥ 建築写真文庫（彰国社）

一巻　和風喫茶店
二巻　レストラン
三巻　専門店舗
四巻　洋風喫茶店
五巻　茶室
六巻　床の間
七巻　茶庭
八巻　料亭の座敷
十巻　和風の門
十一巻　洋風の門
十四巻　キヤバレー
二四巻　和風の窓

新着レコード紹介

ヴアイオリン協奏曲五番・モツアルト曲—二つのロマンス・ベートーヴエン曲・ハイフエツツ（ヴアイオリン）・M・サージエント（指揮）ロイヤル交響楽団（ビクターLP盤）

市政日誌

十一月十一日から十一月二十五日まで

十一月十三日（土）
天神地区市勢振興委員会開催

全　十五日（月）
魚津水族館の魚類の放生会を執行

全　十六日（火）
市議会議員協議会開催

全　十七日（水）
市勢振興委員会代議員会開催
愛知県南設楽郡新城町から行政視察のため来市

全　十八日（木）
山形県南置賜郡南保村議会議員等行政視察のため来市

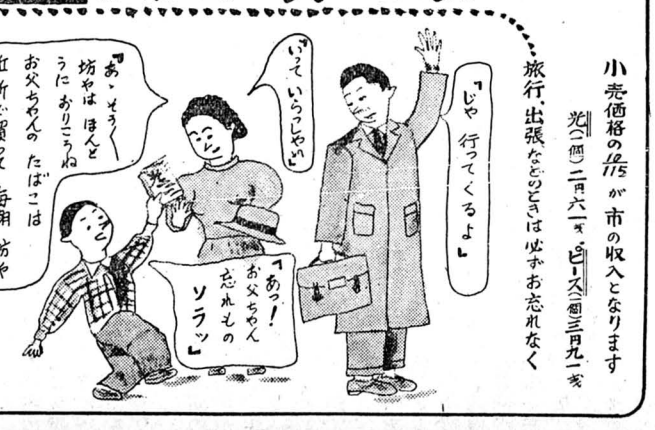
全　二十日（土）
市議会総務、建設合同委員会開催

全　二十二日（月）
供米割当の農業委員会開催
富樫建設省道路局長来市

全　二十四日（水）
供米割当の農業委員会開催
奈良県大和高田市議会議員が行政視察のため来市

全　二十五日（木）
安部衆議院人事委員会専門員が地域給の調査のため来市

たばこは市内で買いましょう



旅行、出張などのときは必ずお忘れなく

小売価格の1/15が市の収入となります
光(一個)二円六一銭・ピース(一個)三円九一銭